

## 本書について

本書は、『TOEIC® テスト必修単語』（ジャパントイムズ刊、127,200部（45刷）のロングセラー本）の改編復刻版です。

この本では、株式会社ナラボー・プレスの名前は、奥付に「編集協力」として載っています。ですが、実際には執筆から編集まですべてナラボー・プレスが行った作品でした。

そして、2006年のTOEIC® L&R Testの改訂に伴って『TOEIC® テスト 新・必修単語』にとって代わり、絶版となりました。しかし、以下の「学習の進め方」のところで述べますが、実際のTOEIC® L&R Testのレベルやジャンルを超越した「**上級単語**」が学習できることから、復刻の声を聞くことができました。

こうしたいきさつがあり、このたび少し手を加えて編集し直し、改編復刻版として出版することになった次第です。

## 本書の特長と構成、 そして効果的な学習の進め方

本書には、上級レベルの単語とその関連語や語句が、約**2,650**語収録されています。また、語彙数を多角的に増やせる語源を使った学習方法なども紹介しています。こうした単語や表現を効率的に確実に習得していくための学習方法を考えていきましょう。

### ■ 本書の特色 — TOEIC を超越した語彙力がつく

もしかすると、多くの人が「TOEIC 満点の人は native speaker と同じレベルの英語力の持ち主」だと思っているかもしれませんが、しかし、TOEIC を作るとき ETS (Educational Testing Service = TOEIC® L&R Test の開発・実施団体) では、「**測定範囲の上限は FSI スケールでレベル**

**2+ないし3まででよい」と決めました。**

FSI スケールのレベル3というのは「一般レベルの業務をこなす英語能力を持つ」レベルと定義されています。ですから、TOEIC の最高点である 990 点は、Native Speaker と同レベルというわけではありません。

これで言えることは、TOEIC で最高点を取るために必要な語彙力はそんなに高くはないということです。TOEIC 受験対策を銘打った単語集を見ても、そのレベルがあまり高くはないことが分かります。

さらに TOEIC では、センシティブティ・レビューという作業によって、受験者にとって不適切あるいは気分を害するような内容が問題に含まれないように配慮しています。

## センシティブティ・レビューと語彙のジャンル、レベル

TOEIC のセンシティブティ・レビューというのは、受験者が受験中に不快に思うようなこと、例えば、戦争、人種差別、死、事故、特定の病気、アルコール、性的なこと、倒産、リストラ、その他のネガティブなことなどは、テストの題材や文章から排除されるということです。

上記の分野やジャンルに関連する単語は TOEIC の試験では使われないわけですから、TOEIC 受験対策に特化した勉強ばかりを続けていると、多くの重要な分野やジャンルに関連した語彙を積み残したまま終わってしまうかもしれません。

## 本書の単語は、かなり上級レベル

実社会では、上記のセンシティブティ・レビューに挙げた話題を避けて通ることはできません。逆に、むしろこうしたジャンルでの話題のほうが多く出てくることでしょう。事故の話、会社の不振、友人や知人の訃報なども、よく話題に上ります。ですから、そうした語彙は必ず必要です。

本書は、TOEIC® L&R Test の出題形式で学習を進めていく形ですが、**TOEIC 受験対策用ではありません。**もちろん、TOEIC 受験に必要な重要単語は網羅していますが、全体的な語彙レベルは**かなり上級**のもので、手応えを感じながら学習を進めましょう。

## 本書の特長 1 — TOEIC の出題形式で単語を習得します。

本書では TOEIC の出題形式で学習を進めます。TOEIC の出題形式に慣れた人には、進めやすい学習方法でしょう。もちろん TOEIC の重要単語は網羅していますから、受験対策にもなります。

また、その Part の出題傾向に合わせて関連語を豊富に紹介しています。例えば、Part 5 では紛らわしいつづりの単語を多く取り上げ、Part 6 では同意語や反意語を多く取り上げました。

## 本書の特長 2 — 文の中で覚えるから確実に定着します。

初期の英語学習のうち、基本単語を 1 語ずつでも丸覚えする学習も必要です。しかし、TOEIC や TOEFL の受験対策やビジネスで使う英語を学習していく場合、単語は文といっしょに覚えなければ身につけません。

本書では、TOEIC の出題形式の文を紹介しながらその中に重要単語を織り込み、文脈の中ではどのような意味で使われているのかがよく分かるように配慮してあります。

### 文脈の意味で単語を覚えることの大切さ

英語の単語には日本語と 1 対 1 の関係になる「辞書的な意味 (lexical meaning)」を持つものと、文脈によって意味が限定される「文脈の意味 (contextual meaning)」を持つものがあります。TOEIC で使われる単語は、そのほとんどが後者です。

初期の英語学習者の多くは、1 つの単語に 1 つの語義を知ると「この単語は覚えた」と思ってしまいがちです。これでは、文の中でその単語を見たとき、その意味だけで文全体の意味を理解しようとしてしまいます。「この単語がこういう意味だから、文はこんな意味になる」と考えるわけです。

ですが、実はこれは逆で、「この文はこういう意味だから、この単語はこっちの意味だ」と考えることが大切です。つまり、文の中で使われる意味合いが決まるのです。これが「**文脈の意味**」です。広い意味で単語のイメージを理解し、そのイメージをそれぞれの状況で判断していくことが重要です。

英単語の文脈の意味 (つまり語感) を知っているのと文の意味を大きく捉え、その中で単語の意味と役割をつかむことができるようになります。

## 本書の特長 3 — 巻頭インデックスが学習目標につながります。

本書では、インデックスを巻頭に付けました。自分の学習したい単語がどこにあるかが探しやすくなります。学習したい単語を先に決めてそのページに進み、音声を使って学習します。学習計画を立てやすくなります。

8ページの「**効果的な INDEX の使い方**」も参考にしてください。

## 本書の特長 4 — 語源で、さらに Power up できます。

語源や接頭辞、接尾辞を知っていると、語彙力の幅がぐんと広がります。ほかの単語とも関連づけて覚えることができます。

「**語源で Power up!**」を大いに活用しましょう。

## ■ お勧めの学習方法

人にはそれぞれ独自の学習の進め方があるかとは思いますが、次のような方法もお勧めです。

### ① 学習予定日を書き込む。

本書は 30 日間の短期集中型の学習をお勧めしています。時間をかけすぎると、忘れてしまう単語も増えてしまうからです。

各ページの上に日付を書く欄があります。そこに、まず学習予定日を書き入れましょう。そして、その予定日より早く学習するように努力しましょう。**早く終わったら、また予定日を修正します。**

### ② 学習内容を「予測」する。

Part 1、5、6 を除くほかのパートでは、それぞれ英文の前にタイトルを付けてあります。英文を読んだり聴いたりする前に、このタイトルを必ず読んで、その内容を予測しましょう。理解度が大きく違ってきます。

### ③ 音声をジャンルごとに分けて聴く。

ひと通り学習が終わったら、フォルダーを作り、英文のタイトルで音声をジャンルごとに分けるのも 1 つの学習法です。そして、英文を見ないで、そのジャンルの音声を通して聴きます。状況をイメージしながら聴きますから、内容がすんなり理解できます。

# 音声の効果的な使い方

本書には、MP3 音声が付いており、すべての例文が収録されています。

## ■ リスニングは耳だけが頼り

リスニングは、耳から聞こえる英文だけが頼りです。ですから、単語や文を文字で覚えていても、それがどういう音になるのかを耳にしっかり覚え込ませなければなりません。また本書でも、ほかの多くの単語学習書と同じように発音記号を表記してあります。ですが、これは、あくまでも単語 1 語だけを取り出した場合の発音であり、文中や会話ではずいぶん違ったものに聞こえるものです。文の中でその語がどういう役割をし、どのような音声になるのかを、必ず音声で確認しましょう。

## ■ 全体概念を捉えるということ

単語を覚えるということは、英語の一部、つまり部品を知ることです。この部品を組み立てていけば英語が出来上がるわけです。ですから、とにかく部品を数多くかき集めれば英文が組み立てられると思う人も少なくありません。それは確かなのですが、英語学習はプラモデルを作るのに似ていて、まず全体を見て、必要な部品を揃えていくことが大切です。やみくもに揃えても、形が見えてこないこともあるのです。

全体を見てどういう部品が必要なのかを知るには、聞こえてくる英文や読む英文の状況をいち早くキャッチすることです。こうしたことから、本書では応答文や会話文の前に状況を示すタイトルを付けました。状況判断が的確にできれば、使われている単語の習得度がぐんとアップします。

こうしたことを念頭に、総合的な学習を通して語彙力を増強していきましょう。